官報告

法　務

公証人生免

大阪法務局所属公証人宇田川力雄は願により公証人を免ぜられた。（四月十九日）（法務省）

国家試験

平成30年公認会計士試験第Ⅱ回短答式試験の試験場

公認会計士試験規則（平成16年内閣府令第18号）第１条の規定に基づき、平成30年５月27日に施行する平成30年公認会計士試験第Ⅱ回短答式試験の試験場を、次のとおり公告する。

平成30年４月27日

公認会計士・監査審査会会長　廣本　敏郎

（管轄財務局等）	（試　験　場）
関東財務局	江東区有明３丁目３番３号　武蔵野大学（有明キャンパス） 杉並区永福１丁目９番１号　明治大学（和泉キャンパス）
近畿財務局	吹田市山手町３丁目３番35号　関西大学（千里山キャンパス）
北海道財務局	札幌市北区北８条西２丁目　札幌第１合同庁舎
東北財務局	仙台市青葉区本町３丁目３番１号　仙台合同庁舎
東海財務局	名古屋市天白区塩釜口１丁目501番地　名城大学（天白キャンパス）
北陸財務局	金沢市新神田４丁目３番10号　金沢新神田合同庁舎
中国財務局	広島市西区福島町２丁目１番１号　広島工業大学専門学校
四国財務局	高松市番町１丁目10番35号　香川県社会福祉総合センター
九州財務局	熊本市西区春日２丁目10番１号　熊本地方合同庁舎
福岡財務支局	福岡市東区和白東３丁目30番１号　福岡工業大学
沖縄総合事務局	那覇市おもろまち２丁目１番１号　那覇第２地方合同庁舎１号館

平成30年度弁理士試験の試験会場

平成30年度弁理士試験の試験会場について、次のとおり公告する。

平成30年４月27日

工業所有権審議会会長　日覺　昭廣

１　短答式筆記試験（平成30年５月20日（日）12時30分から16時00分まで）

⑴　東京

青山学院大学　青山キャンパス〔東京都渋谷区渋谷四丁目４－25〕

立教大学　池袋キャンパス〔東京都豊島区西池袋三丁目34－１〕

⑵　大阪

近畿大学　東大阪キャンパス〔大阪府東大阪市小若江三丁目４－１〕

⑶　仙台

東北福祉大学　仙台駅東口キャンパス〔宮城県仙台市宮城野区榴岡二丁目５－26〕

⑷　名古屋

南山大学　名古屋キャンパス〔愛知県名古屋市昭和区山里町18〕

⑸　福岡

福岡工業大学〔福岡県福岡市東区和白東三丁目30－１〕

２　論文式筆記試験【必須科目】（平成30年７月１日（日）10時00分から17時00分まで）

⑴　東京

立教大学　池袋キャンパス〔東京都豊島区西池袋三丁目34－１〕

⑵　大阪

大阪工業大学　梅田キャンパス〔大阪府大阪市北区茶屋町１－45〕

３　論文式筆記試験【選択科目】（平成30年７月22日（日）10時00分から11時30分まで）

⑴　東京

青山学院大学　青山キャンパス〔東京都渋谷区渋谷四丁目４－25〕

⑵　大阪

関西大学　千里山キャンパス〔大阪府吹田市山手町三丁目３－35〕

４　口述試験（平成30年10月20日（土）から平成30年10月22日（月）のうち、いずれかの日）

東京

ザ・プリンス　パークタワー東京〔東京都港区芝公園四丁目８－１〕

５　注意事項

⑴　会場への直接の問い合わせ等は行わないこと。

⑵　会場への車の乗り入れは厳禁であること。

⑶　試験室の室温の感じ方には個人差があり、また、設備によっては試験室内の温度が一定にならない場合もあるため、着衣については各自留意すること。

平成30年度全国通訳案内士試験公示

通訳案内士法（昭和24年法律第210号）第８条の規定による平成30年度全国通訳案内士試験を次のとおり実施することとしたので、通訳案内士法施行規則（昭和24年運輸省令第27号）第２条の規定に基づき、公示する。

平成30年４月27日

観光庁長官　田村明比古

１　試験科目

⑴　筆記試験

㋐　外国語（英語はマークシート方式、中国語及び韓国語はマークシート方式及び記述式、英語・中国語・韓国語以外は記述式）

英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、韓国語及びタイ語のうち、受験者の選択する一カ国語（ただし、今年度一つの外国語科目が免除となり、併せて他の外国語科目の受験を希望する場合、又は二つの外国語科目が免除となる場合は二カ国語の申請を可能とする。）

㋑　日本地理（マークシート方式）

㋒　日本歴史（マークシート方式）

㋓　産業、経済、政治及び文化に関する一般常識（マークシート方式）

㋔　通訳案内の実務（マークシート方式）

⑵　口述試験

通訳案内の実務（筆記試験で選択した外国語による通訳案内の現場で必要とされるコミュニケーションを図るための実践的な能力）

２　受験資格、試験期日、試験場所及び合格者の発表

⑴　筆記試験

受験資格　年令、性別、学歴、国籍その他の制限はない。

試験期日　平成30年８月19日（日）

㋐　外国語：午前10時（日本時間。以下同じ。）から正午までの２時間

㋑　通訳案内の実務：午後１時30分から１時50分までの20分間

㋒　日本地理：午後２時20分から３時00分までの40分間

㋓　日本歴史：午後３時30分から４時10分までの40分間

㋔　産業、経済、政治及び文化に関する一般常識：午後４時40分から午後５時00分までの20分間

試験場所　札幌市、仙台市、東京近郊、名古屋市、大阪近郊、広島市、福岡市、沖縄県、ソウル市及び台北市

試験場は、受験票交付の際に受験者に通知する。

㈱　外国語については、ソウル市では韓国語のみ、台北市では中国語のみ実施する。

準会場　学校等の施設が運営する登録制の会場であり、準会場関係者のみが受験できる。ただし、以下の施設については準会場関係者以外の受験を可能とする。

・国際外語・観光・エアライン専門学校（新潟市）

・熊本外語専門学校（熊本市）

合格者の発表　平成30年11月８日（木）（予定）に、筆記試験の合格者の受験番号を独立行政法人国際観光振興機構（以下「機構」という。）のウェブサイト上に掲載する。また、受験者には郵送で合否を通知する。なお、不合格者のうち一部の科目について合格点を得た者には郵送で当該科目を通知する。

⑵　口述試験

受験資格　筆記試験に合格した者

試験期日　平成30年12月９日（日）

試験場所　英語、中国語、韓国語については、東京近郊、大阪近郊又は福岡市

（英語、中国語又は韓国語の受験者で筆記試験を東京近郊、大阪近郊又は福岡市で受験した者は当該受験場所と同一の地域で口述試験を受験しなければならない。）

英語、中国語、韓国語以外の外国語については、東京近郊

試験場及び試験時間は、筆記試験の合格通知の際に当該合格者に通知する。

合格者の発表　平成31年２月８日（金）（予定）に口述試験の合格者の受験番号を機構のウェブサイト上に掲載する。また、受験者には郵送で試験の合否を通知する。

合格者には全国通訳案内士試験合格証書を、不合格者のうち筆記試験の合格者には筆記試験合格証書をそれぞれ交付する。